

熊 本 子 と も 囲 碁 便 り



No.35 2014. 11. 16

発行：NPO法人

熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



鶴 山 淳 志 七 段 を 迎 え て

第 12 回熊本子ども囲碁交流大会

10月19日（日）熊本市東部市民交流センターにて開催され11教室より97名が参加（13路盤7名）。午前中は通常とおり交流大会を行い、午後は熊本出身 鶴山淳志七段（日本棋院）による指導碁が行われました。（5級以上） また、10級以上は内田直也肥後本因坊の指導碁を受け、子どもたちは真剣に挑戦していました。いつもとはまた違った思い出に残る大会になったようです。

全勝者は下記の通り

《 19路盤の部 》

前田悠仁（杉上小5年）

米田伊吹（人吉西小1年）

遠藤倫大朗（西原小3年）

戸澤政輝（合志南小6年）

大塚裕貴（尾ノ上小6年）

上田健心（保育園）

田中優輝（山ノ内小3年）

上村愉唯（託麻原小2年）

小山海祈登（熊本附属小3年）

有屋田尊（東町小4年）

板倉大翔（幼稚園）

有屋田彩（保育園）

木村美結（保育園）

舞永龍之介（託麻原小3年）

《 13路盤の部 》 寺本朝陽（城東小1年）



鶴山淳志プロ

内田直也肥後本因坊



小さい子どもも真剣に対局



熱気マンマンの会場

こんにちは！ヒカルの碁スクール阿蘇の藤崎です。皆さん、いつも囲碁を楽しんでいますか？(^^♪

私は、10月19日に開催された宝酒造杯クラス別チャンピオン戦大阪大会に、里帰りを兼ねて参加して来ました。

この大会は、全国10ヵ所11会場で予選が行われ、初段から六段と無差別の名人戦、級位戦2クラスで優勝した人が、京都で行われる全国大会に、招待される大会です。

10級の人でも、全国大会の代表になれる珍しい大会です。

各段で32名1パートとし、参加者が多い地区では3、4パートあったりするので、パート優勝してもその3、4人で後日決定戦をして、勝った1名だけが全国大会に行けるので、容易では有りません。今回大阪大会は、1,200名あまりの参加者でした。

私は過去に、六段戦でパート優勝して代表戦に挑みましたが、残念ながら敗退(>_<)しかし、勝った方が後日棄権されたので運良く全国大会に参加できました。

全国大会では、緒戦に優勝した方と当たり、その後4連勝して4勝賞をもらいました。

ここ数年は、惜しかった大会もありますが、最近では2勝とか3勝止まりで結果を出せていません(*´Д`)=3

今年は、ケーブルテレビの大会で初優勝できたので、三度目の正直で福岡大会大阪大会に次いで広島大会にも参加する予定ですが、どうなる事でしょうか(´ー`)/

大阪では、友人と会ったり親戚と食事に行ったりしましたが、一番有意義だったのが、囲碁を幼児教育に取り入れている幼稚園を見学できた事です。

兵庫県尼崎市にある、学校法人からたち幼稚園です。

以下は、頂いた資料からの抜粋です。

『からたち幼稚園囲碁の取り組み』より抜粋

1、はじめ

ここは私立幼稚園で尼崎市内に3ヶ所有り、平成15年頃から北村保子園長が幼児教育に囲碁が素晴らしい効果があると言う事で、取り入れました。

当初は、『ポンスキゲーム』の安田先生をお招きして、同市内の小中学校、幼稚園、障害者施設等で指導して頂いたそうですが、その後を続ける事が出来る人材がいなかったため、方向転換しました。

2、ステップ

初めは、園のカリキュラムに組み込む予定でしたが、教諭の技量不足もあり、放課後クラブ創設から始めました。

17年4月にプロの先生を講師に招き『からたち幼稚園囲碁道場』が創設されました。



その後、3園の対抗戦として『名人戦』実施し、腕を競い合いました。

19年には、同市内の細川囲碁道場の生徒を招き、対抗戦をしたところ、圧倒的な力の差に愕然とし、それをきっかけに、道場の指導方法を再考しました。

3、ジャンプの途中

平成20年4月から、指導者の嶋村氏、植田氏による『囲碁保育』が、週1回40分の稽古としてカリキュラムに取り入れました。

23年11月には、子どもの碁会所として、『テラ碁ヤ』を創設するまでに発展しました。

囲碁道場は、土曜日の午前中が指導日で、希望者だけです。希望者ですが碁保育は全5歳児が対象です。保育終了後も希望者は、テラ碁ヤに参加して週2回 14:30 から 18:00 まで受講できるようになりました。

これにより、各種囲碁大会での戦績は相当上がりました。

碁を保育に取り入れてからの卒園生は 1100 名を超えています。

4、これからの課題

子ども達が、碁をたしなむ事により培われる「人間性」「人間関係」の構築を教育の柱として据えたいと願っています。



幼稚園見学の後は、伝統ある『細川碁教室』に行ってきました。

ここは、細川千仞(せんじん)先生のお孫さん御夫妻(高林正宏七段)が指導されている教室で、私も子ども達と二局打った後、先生に打って頂きました。

結果は、2子で惨敗(>_<) でもすごく勉強させてもらえました(^^)v

皆さんも、出られる大会にはどんどん出て、碁力アップして下さいね(^^)♪

藤崎幸次郎



「第26回 日向はまぐり碁石まつりを開催しました」

宮崎県日向市産業経済部商工港湾課内

日向はまぐり碁石まつり実行委員会事務局

日本唯一のはまぐり碁石の生産地として知られる日向市では、10月25日から26日にかけて、「第26回日向はまぐり碁石まつり」を開催しました。

今年は、より魅力ある碁大会にするため、大会1日目に団体戦(3人1組)を導入したところ、当初の予想を上回る34チーム(102名)のご参加をいただきました。

また、2日目の個人戦では、全国各地から5歳から88歳まで



の計347名の参加者で熱戦が繰り広げられました。

熊本県内からも、2日間で30名以上の方に今大会を盛り上げていただきました。遠くからたくさんのご参加に深く感謝申し上げます。

さて、当市では、若者への囲碁文化の普及と底辺拡大のため、第24回大会から個人戦に「ジュニアの部」を設けています。

今回のジュニアの部には、3つのクラスに、県内外から計44名の子どもさんが参加され、1日目の団体戦でも、全参加者の約2割を中学生以下が占めるなど、若い力がみなぎった大変活気あふれる大会となりました。

大会期間中は、「はまぐり碁石のまち」ならではの、すべての対局に本物のはまぐり碁石と榎碁盤を使用し、お昼は、はまぐりご飯入りの『囲碁よろしく弁当』をご賞味いただき、各クラスの上位入賞者には、蛤碁石と榎碁盤が贈られました。

また、プロ棋士の先生方（小林覚 九段、園田泰隆 九段、矢代久美子 六段）にも、大会に華を添えていただき、指導碁や初心者囲碁講座、お楽しみ抽選会など、大いに盛り上がったところであります。

最後になりましたが、熊本県内の日本棋院各支部の関係者の皆様には、開催前から大会PRと参加者募集に、多大なるご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

大会事務局では、「はまぐり碁石のまち」として、今後も趣向を凝らした大会にしていくことにしていますので、来年の大会へのご参加を心からお待ちしております。

熊本参加者の結果



ジュニア初級の部 優勝前田心香さん（右） 準優勝木下ナオミさん



ジュニアBクラス 4位 米田伊吹君（右）





囲碁界から・・・

新聞等でご存じかもしれませんが、この度、藤沢里菜二段（日本棋院）が女流本因坊のタイトルを獲得しました。このタイトル獲得は、謝依旻女流名人が獲得したときの17歳1ヶ月を抜く16歳1ヶ月という史上最年少での記録です。小学校時代に小・中学校囲碁団体戦全国大会3連覇。そして11歳6ヶ月でプロ試験合格したことも史上最年少記録です。祖父が故藤沢秀行名誉棋聖、父が藤沢一就八段という恵まれた環境ですが、囲碁に対する情熱と努力は並みならぬものがあることでしょう。「目標は世界に通用する棋士」を明言している藤沢二段。将来が楽しみです。

（西山）

大会の案内・・・第19回 熊本青少年囲碁の集い

日 時：12月21日（日） 受 付 9：00～9：30

対局開始 10：00～

場 所：熊本日新聞社 本館2階

（熊本市中央区世安町172 096-361-3383）

参加費：1000円（軽食・参加賞あり）

資 格：県内在住の高校生以下

形 式；クラス別の変則リーグ戦

※13路盤の部もあります

主 催：熊本日新聞社・日本棋院熊本県本部

申し込みは各教室へ ふるってご参加ください！！

囲碁入門教室のご案内 ○●○●○●○●○

期 日：12月14日（日） 10：00 ～ 12：00

場 所：熊本市東部市民交流センター（熊本市東区戸島町2588番地1 096-349-0888）

※当法人スタッフが優しく親切にルールから説明します。

まわりの友だちを誘って参加して下さい！！申し込みは東部市民交流センターへ！！



NPO法人熊本子ども囲碁普及会ホームページアドレスです。

身近な大会情報、結果なども載っています。

県内の子ども教室案内もあります！！

または「NPO法人熊本子ども囲碁普及会」から検索して下さい。

<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>



NPO法人熊本子ども囲碁普及会賛助会員のご協力ありがとうございます。

つきましては、主旨に賛同いただき、賛助会費として継続を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

法人会員

井筒屋化学産業（株）・熊本電気鉄道（株）・日本郵政グループ労働組合九州地方本部・ルンビニー幼稚園・日本棋院託麻囲碁クラブ支部・RKKカルチャーセンター・（株）エム・ティ・エス松本・（有）草野企画・日本棋院玉名支部・重光産業（株）・熊本ファミリーライフサービス（株）・肥銀カード（株）・（株）三優・肥後商事（株）・（株）熊本銀行・熊本空港ビルディング（株）・吉永公認会計事務所・福田病院・株式会社かんぽ生命保険熊本支店・全労済熊本県本部・ましき耳鼻咽喉科クリニック・日本棋院人吉球磨支部・熊本市内官公庁等囲碁大会事務局・熊本母と子の囲碁教室

個人会員

江藤和義・後藤斉・栗崎一成・浅野弘尚・高橋邦章・河野延夫・長田幸基・宮崎享・松本晴子・石淵霧子・鎌田聡・鳥井郁代・吉永茂・桑原五夫・石川至孝・岐部英登・川口雄一・箕田健生・島田万里・隈部敏・木下弘文・野崎照・宮川隆二・倉田千佳子・遠藤倫生・浅枝恭子・内田直也・田口信夫・鏡勝夫・右山剛・加藤年哉・塚本清・松原晃由・村田一信・風口英利・山城佐知・徳尾幸子・藤本和美・上野剛彦・一碁一会会・磯田麗子・清田義成・伊藤弘（千丁町囲碁愛好会会長）・河内照美・奥園惣幸・水谷浩一・坂本美加代・安田節爾・田中信夫・前田一精・奥村拓司・渡邊勉・福岡昌継・坂口信春・坂口仁寿・小川道雄・大原照久・鬼海洋一・平野みどり・安川俊文・西村昭登・古家 守・新道哲也・金枝雅治・藤川雅朗・湯村フク・寺尾敏子・大森貞夫・前田由美子・盛山恒子・斉藤恵美子・満井浩一・坂本昭徳・諏訪免力・下地朋友・下地君代・森 俊博・田中力男・鶴山繁實・古賀征生・渡辺 武・加納剛太・石塚正司・板垣草人・駒崎照雄・瀬口良三郎・畠中直幸・畠中忠俊・江藤 剛・松田 敏・後藤修一・松尾 孝・八塚敬子・竹屋純子・元田美智子・養田耕太郎・宮川秀樹・宮川哲就・田坂照夫・宮永康男・古田 浩・江藤 茂・江藤由久子・西 徳義・坂田祇彦・岩下 弘・江富佑子・芦田 司・古庄 剛・（順不同・敬称略）

会員継続のお願い

昨年10月の賛助会員募集以来平成26年3月末の決算で、77名の個人会員様より584千円、20団体の会員様より、600千円の貴重な活動資金を寄せて頂きました。この会費を、碁盤、碁石250セット、解説用のマグネット碁石、教材購入、NPO法人の創業事務、管理費などに使わせていただきました。（役員理事の報酬はありません）

この一年間に、県内10校の学童保育に指導員を派遣し、300人余りの子ども達に普及、指導をしています。また、学校教育にも取り入れてもらえるよう講師派遣など働きかけています。一人でも多くの子どもに囲碁普及することにより、子ども達の情操と考え抜く力を育み、現代っ子が苦手と言われる思慮深い子を育成し、日本の将来を担う子どもの健全育成に資する為、この一年活動をしてきました。皆さま方からの協賛金は、教材費、盤石の購入などに有効に使わせていただいております。今度も子ども囲碁普及の為に理事一同活動を頑張っていく所存です。

引き続き会員継続をいただきますようお願い申し上げます。

NPO法人熊本子ども囲碁普及会

編集後記

日没が早くなり寒い日が続く季節になりました。例年11月開催されている熊日青少年囲碁の集いが主催者の都合で21日に変更になりました。定期テスト等で参加出来なかった中学、高校生も今年は参加できるのではないのでしょうか。幼稚園から高校生まで県内の子ども囲碁愛好者がどれくらい集まるか楽しみです。（西山）